



りすぐみだより



平成 29 年 3 月号

社会福祉法人 尚徳福社会 生麦保育園

まだまだ寒い日が続いていますが、子どもたちは寒さに負けず、園庭で元気いっぱい走り回って体を動かしています。風邪をひかないように、引き続き子どもたちの体調管理に十分気をつけながら、楽しい日々を過ごしていきたいと思えます。

節分の会



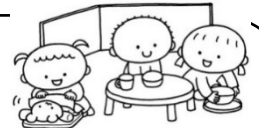
自分たちで新聞紙を丸めて豆を作り、お面を頭に付けて豆まきに参加しました。鬼がくることを伝えると怖がっていましたが、保育者の顔が見えるようにお面を付けると、怖がることなく「おには～そと、ふくは～うち！」と言いながら「えいっ！」と保育士に豆を投げていました。豆まきが終わると「〇〇せんせいがおにだったね」と安心した様子。その後は、豆のかわりにお菓子のポン菓子やを皆で仲良く食べました。「あまくておいしいね」「もっとたべたい」と何度もおかわりをしていました。

雪が降ると・・・



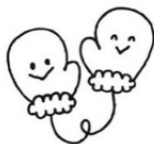
雪の日、子どもたちが外を覗き、「ちいさいゆきがいっぱいふってるね」「ふわふわだね」とじっと雪を見ている子や、「ありの～ままの～」と『アナと雪の女王』の主題歌を歌っている子もいました。

部屋の模様替え



午前と午後で棚の配置を変えて、子どもたちはごっこ遊びやブロック遊びなどをコーナーごとに楽しんでいきます。また、おままごとコーナーの所に新しいキッチンを置くと「いつもとおへやがちがうね」「いまごはんつくるね」「せんせいにごはんつくったよ！たべてね」と楽しそうにおままごとをしていました。

手袋制作



自分たちで好きな色のひもを選び、穴の開いた手袋の型紙にひもを通して手袋を作りました。室内遊びで何度かひも通しをして遊んでいたことで、器用に指先を使って穴にひもを通すことができるようになりました。そして、色々な色の手袋が完成。次に自分たちの似顔絵をクレヨンで描きました。保育士が描いた顔の見本を見て「めはここかな」「かみのけはちゃいろにする」と言いながら、クレヨンで上手に目や鼻や口などを描いていました。完成した作品を部屋に飾ると、お友だちの作品をみて「〇〇ちゃんのじょうずだね」「ピンクいっしょだね」と友だち同士仲良くお話をしていました。

人形劇



「ききみみずきん」という人形劇を見ました。朝の集まりで人形劇があることを伝えると、「やったー！」「なにがでてくるの？」と楽しみにしていました。劇が始まると照明が暗くなり怖がっている子もいましたが、人形のきつねや鳥などの動物がでてくると、手を振っていました。みんなで歌う場面は、元気な声で歌ったり、手拍子をしたりと楽しんでいました。劇が終わり部屋に戻ると「またみたいなー」という声が沢山聞かれました。